

令和3年度 第1・2回の結果から第3回までの取り組み

資料1

課題	地域課題	第2回ででた意見	第3回までの取り組み
1	歩いて行ける通いの場、運動教室が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法の団体として協力していこうということになっている。共通教室等の講師派遣は前向きに考える。 ・コロナが終息した後連絡しやすいようなツールを作してほしい。 ・腰痛体操など指導する。 ・新しくサロンを作るのではなく、今あるところへ支援する。広報が大切。 ・サービスガイドの作成に済衆館病院のような大きなスポンサーが見つかることは無理か。住民全体にお知らせする手段にはならないか。 ・情報提供は大切である。 ・SCとして直接かかわっているサロンはないが、地域で何をやりたいのか、どのような思いでやりたいのかが大事。 ・PTの支援が必要かどうかの情報をどう得るか。SCが察知し投げかけてもらえるといい。 ・市は補助金を出す、SCは住民との密接な関係であるという強みがある。必ずしもサロンに行かなくても今あるサロンをどうしていくか。初めの段階としての全体像の共有を。 ・喫茶店の状況調査を見て、多くの喫茶店は難しいと思った。経営者にもよるが、スポーツジムなどでは行えないか。 ・まずは発信してみる。実績を作っていくため、14時から15時ぐらいの時間で喫茶店の空いているスペースでおれんじカフェをやってもらおうなど、選択肢を増やしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SCと市の担当で検討し、サロンの支援の在り方、これまでの経緯や今後の展望を挙げてほしい。 ・サロンの状況を調べるにあたり、平常時の定員の記入をし、SCと協力して実施を。 ・おれんじスペースの一覧を提出してもらい、内容を共有し何かできることはないか考える。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ボラ、御用聞き、宅配スーパーがない、オンライン買い物、買い物代行支援がない。 ・担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・きたバスがよくなったと評判がいい。 ・情報の活用について、レインボーネットに落とせばCM等活用できる。紙のものとインターネットを利用したものがあるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の場所を載せるなど、レインボーネットでの検討もしてほしい
3	外出を控える傾向があり、フレイルになっている可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果が何かにつながらないか。 ・判定結果をフィードバックしているのか。かかりつけ医に相談しましょうとか、かかりつけ医を持ちましょうという情報を載せてはどうか。 ・外来受診される方で、痩せている、歩くのが遅い、フレイルかなという人に介護認定を進めることはある。 ・健診の結果でフレイルがあるとか結果に出してもらえると気が付くのではないか。 ・オーラルフレイルからフレイルになる人は多い。 ・問診表を見ていただき、医師から助言活用していただけると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診担当部署と相談してほしい。